

障がいをもちながら、この前橋で生活していくために、 地域の支えが必要です

専門職だけではなく、地域の方のご参加もお待ちしております

福祉総合相談センター ほなみ主催 第18回事例検討会



「脳性麻痺、社会的養護を乗り越えて、 グループホームから一人暮らしへチャレンジ」

～仕事をしながら、サービスを活用し、前橋で暮らしていくために必要な資源とは～

【開催日時】 2026年 3月11日(水) 13:00~15:00

【開催会場】 特別養護老人ホーム ほなみ 2階会議室
前橋市朝倉町 842-1

【事例紹介】 脳性麻痺を生れながらに抱えており、
社会的養護も経験し障がいグループホームへ。
本人のストレングスと努力で、仕事を決め、一人暮らしを開始。
福祉サービスを受けること以上に、助かっていることが、
地域とのつながりや、人のやさしさである。
地域で生活をしていくために、つながりや、
周りの人の理解がとても力になっている。
障がい、高齢、児童、生活困窮など、様々な分野といわれるもの
があるが、それは制度の話で当事者には、関係がない。地域で暮らすにあたって、必要な
つながりを考える機会になればと思います。



【内容】本人の講演

グループワーク(①感想共有②地域のつながりを増やすには)
ワークを受けての感想や質疑応答

【お申込み】 ご出席は QRコードからお願いいたします

またはお電話／Fax/Mail(お名前・所属・連絡先記載の上)にてお申し込みください
〒371-0811 前橋市朝倉町 842-1 TEL:027-212-3025 fax:027-212-3024
Mail:kyotaku@kyoudou-fukushikai.jp

月1開催している事例検討会最新の情報は ↓

ホームページにアップいたします。ぜひチェックしてお申込みください。

また、事例提供もお待ちしております

